

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月14日

上場会社名 株式会社ジー・テイスト
 コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 稲吉 史泰
 (氏名) 岩崎 友也

TEL 022-762-8540

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,647	△8.8	300	△39.5	280	△40.8	128	△58.8
24年3月期第2四半期	8,383	△5.2	496	—	473	—	312	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.73	1.70
24年3月期第2四半期	4.69	4.25

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	10,336	4,870	47.1	65.49
24年3月期	11,259	4,741	42.1	63.76

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,870百万円 24年3月期 4,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,601	△7.7	707	△39.6	691	△38.3	488	△38.6	6.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	74,364,376 株	24年3月期	74,364,376 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,349 株	24年3月期	1,149 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	74,363,147 株	24年3月期2Q	66,741,411 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成24年10月22日付適時開示でお知らせした過去の連結会計処理に関連し、過年度の決算を訂正しております。有価証券報告書等については平成24年11月13日付で訂正報告書を提出しております。以下の記載における前年同四半期との比較は訂正後の財務諸表等に基づくものであります。

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、欧州債務問題や世界的な景気の減速懸念を背景に日経平均株価が下落し、一部震災復興関連の需要は伸びているものの、長期化する円高に加え、電力供給問題や中国での反日デモ等外交不安による影響など国内外で新たな問題も浮上し、先行き不透明な状態で推移いたしました。

外食産業におきましては、震災後の外食需要の回復基調はひと段落し、消費者の節約志向が続いております。また、市場が飽和状態の中、低価格競争など他社との競争はますます激しくなり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社では、既存店の強化と不採算店舗の撤退により収益力の改善を目指す一方、新業態の開発により新たな顧客層の開拓と売上増加に取り組んでまいりました。しゃぶしゃぶ食べ放題の新業態「もうぼうDINING」では、今までのノウハウを活かしながら、ワンランク上のお得感と20種類以上の薬味から自分流のアレンジが楽しめるというお楽しみ感を提供し、新たな客層の取り込みを目指してまいりました。また、前事業年度に控えておりました改装や業態変更を再開し、既存店のブラッシュアップを図ってまいりました。しかしながら、震災復興需要等が落ち着き始めたことや他社との競合により、主要営業エリアのひとつである東北地方、特に寿司事業での苦戦が続き、前年同四半期に比べ業績は厳しい推移となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高76億47百万円、(前年同四半期比8.8%減)、営業利益3億円(前年同四半期比39.5%減)、経常利益2億80百万円(前年同四半期比40.8%減)となり、不採算店舗の撤退費用等の特別損失を84百万円計上した結果、四半期純利益は1億28百万円(前年同四半期比58.8%減)となりました。

セグメント業績は、次の通りであります。

寿司事業におきましては、不採算店舗等3店舗を閉店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は69店舗となりました。当事業では、「旬夏だより」「新涼の陣」など復興応援食材を使用したキャンペーンや、「豊の秋巡り」など季節限定のキャンペーンを展開し、より多くのお客様にご来店いただけるよう取り組んでまいりました。また、宅配商品にも力を入れ、付加価値の高い商品をご提案してまいりました。しかしながら、復興需要等も落ち着いてきたことなどから、厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高26億90百万円(前年同四半期比10.0%減)、セグメント利益(営業利益)1億75百万円(前年同四半期比44.5%減)となりました。

居酒屋等事業におきましては、新規出店4店舗、業態変更2店舗、不採算店舗6店舗を閉店した結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は121店舗となりました。当事業では、主要ブランドである「とりあえず吾平」「村さ来」「ちゃんこ江戸沢」をはじめ、各業態でそれぞれの独自色を出した挟み込みメニューやグラントメニューを導入することで来店客数の増加を目指してまいりました。また、不振店舗につきましては、新業態「もうぼうDINING」や均一料金居酒屋「てんてけてん」への業態変更を行い、業績改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高44億8百万円(前年同四半期比9.3%減)、セグメント利益(営業利益)3億74百万円(前年同四半期比27.7%減)となりました。

教育事業におきましては、新規開校1校舎、業態変更1校舎、1校舎を移転開校した結果、当第2四半期会計期間末の校舎数は41校舎となりました。英会話教室では、短期集中コースの「NOVA Plus」や「5周年記念キャンペーン」の販促活動に力を入れることで新規生徒数の獲得は順調に推移してまいりました。学習塾でも、宣伝効果により夏期講習受講者からの入会率が増加するとともに、夏期講習の単価アップにもつながりました。

その結果、売上高3億41百万円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益(営業利益)40百万円(前年同四半期比27.1%減)となりました。

その他事業には、不動産賃貸収入等が含まれ、当第2四半期累計期間におきましては、売上高2億7百万円(前年同四半期比3.6%増)、セグメント利益(営業利益)31百万円(前年同四半期比5.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は103億36百万円となり、前事業年度末より9億23百万円減少しております。その主な要因は、借入金の返済等による現金及び預金の減少6億64百万円、敷金及び保証金の減少2億17百万円があったことによるものであります。

負債総額は54億65百万円となり、前事業年度末より10億51百万円減少しております。その主な要因は、長短借入金の減少6億58百万円、買掛金の減少69百万円、流動負債「その他(未払消費税等)」の減少1億46百万円によるものであります。

純資産は、48億70百万円となり、前事業年度末より1億28百万円増加しております。その主な要因は、四半期純利益1億28百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年10月22日付の「過年度決算の訂正についてのお知らせ」で公表しましたとおり、証券取引等監視委員会より過年度の会計処理の妥当性について疑義が呈され、社外の専門家である弁護士、公認会計士から成る調査チームを設置し、調査を進めてまいりました。そして、同調査チームから受領した報告書の内容を受けて、過年度の有価証券報告書等を訂正いたしました。これにより、過去に提出している有価証券報告書等について訂正報告書を提出したことにより、課徴金など損失の発生する可能性があります。現時点において当局の処分内容が確定していないため、その金額を合理的に見積もることは困難であり、当該事象が今後の財政状態及び経営成績に及ぼす影響は明らかではありません。

このため、平成25年3月期の業績予想につきましては、課徴金などの損失金額の確定後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

①過年度決算を訂正した事由

当社は、平成21年4月に関連会社でありました株式会社グローバルアクトの株式を取得し、連結子会社化しました。その際に、以前に連結子会社として連結していた際の処理、及び連結財務諸表を作成していない期間における関連会社に対する投資損益等の累計額を反映した投資額を考慮せずに新規に株式の取得したものとみなして会計処理を行いました。その処理について、証券取引等監視委員会より疑義を呈され、社外の専門家である弁護士、公認会計士から成る調査チームを設置し、調査を実施してまいりました。その調査チームによる報告を受け、過年度の決算を訂正したものであります。

②過年度決算の訂正について

上記①の会計処理について、当社は金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の訂正を行うことを決定し、第51期（平成22年3月期）以降の連結財務諸表及び財務諸表を訂正しております。なお、過年度連結財務諸表及び財務諸表の訂正事項に関する監査については、なぎさ監査法人より監査を受け、監査手続きは完了しております。

③過年度決算の訂正による影響額について

過年度決算の訂正による影響額については、平成24年11月13日公表の「有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,788,778	1,124,628
受取手形及び売掛金	228,938	205,868
商品	10,622	10,426
原材料及び貯蔵品	119,477	114,047
その他	626,680	659,018
貸倒引当金	△11,558	△7,306
流動資産合計	2,762,937	2,106,683
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,089,289	2,074,135
土地	2,078,035	2,078,035
その他(純額)	211,138	243,187
有形固定資産合計	4,378,462	4,395,358
無形固定資産		
のれん	272,077	242,309
その他	64,549	64,184
無形固定資産合計	336,627	306,494
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,043,982	2,826,763
その他	905,875	867,127
貸倒引当金	△168,765	△166,379
投資その他の資産合計	3,781,092	3,527,511
固定資産合計	8,496,182	8,229,364
資産合計	11,259,119	10,336,048
負債の部		
流動負債		
買掛金	464,134	394,503
短期借入金	596,714	365,053
1年内返済予定の長期借入金	1,287,797	1,071,367
未払法人税等	87,656	67,633
引当金	118,260	37,701
資産除去債務	7,951	2,661
その他	1,397,040	1,271,714
流動負債合計	3,959,554	3,210,634
固定負債		
社債	45,000	30,000
新株予約権付社債	345,000	330,000
長期借入金	901,155	690,732
退職給付引当金	66,878	63,155
資産除去債務	533,858	534,855
その他	666,333	606,529
固定負債合計	2,558,226	2,255,273
負債合計	6,517,781	5,465,908

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,785,195	1,785,195
資本剰余金	2,675,617	2,675,617
利益剰余金	280,617	409,428
自己株式	△92	△101
株主資本合計	4,741,338	4,870,140
純資産合計	4,741,338	4,870,140
負債純資産合計	11,259,119	10,336,048

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	8,383,269	7,647,420
売上原価	2,901,005	2,682,529
売上総利益	5,482,264	4,964,890
販売費及び一般管理費	4,985,600	4,664,641
営業利益	496,663	300,249
営業外収益		
受取利息	7,839	4,672
受取配当金	131	131
デリバティブ評価益	13,997	—
負ののれん償却額	24,384	8,559
雑収入	12,594	15,432
営業外収益合計	58,946	28,795
営業外費用		
支払利息	45,909	33,942
雑損失	36,564	14,821
営業外費用合計	82,474	48,764
経常利益	473,135	280,280
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	76,006	3,360
固定資産除却損	1,096	—
減損損失	712	43,516
店舗閉鎖損失	8,502	37,727
特別損失合計	86,317	84,604
税引前四半期純利益	386,830	195,676
法人税、住民税及び事業税	46,621	41,937
法人税等調整額	27,291	24,929
法人税等合計	73,912	66,866
四半期純利益	312,917	128,810

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。